

## 戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

## 機能1. 調査・研究

戸田の歴史や自然について蓄積していく「知の拠点」となる施設として、郷土戸田に関する調査・研究をさらに進めていきます。

[評価]令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価

3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった

[方向性]令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標

継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
1	専門性が求められる学芸員及びアーキビストの確保など、職員体制の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員資格を有する常勤職員:3名(博物館)</li> <li>・学芸員資格を有する会計年度任用職員:5名(博物館2名、彩湖3名)</li> <li>・司書資格を有する会計年度任用職員:1名(AC)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員資格を有する常勤職員:3名(博物館)</li> <li>・学芸員資格を有する会計年度任用職員:5名(博物館2名、彩湖3名)</li> <li>・司書資格を有する会計年度任用職員:1名(AC)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員資格を有する常勤職員:4名(博物館3名、彩湖1名)</li> <li>・学芸員資格を有する会計年度任用職員:6名(博物館3名、彩湖3名)</li> <li>・司書資格を有する会計年度任用職員:1名(AC)</li> <li>【課題】資格を有する常勤職員の継続的配置</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き有資格者配置のための調整や採用を行う。(博物館、AC、彩湖)</li> </ul>	
2	継続的、計画的に調査・研究に取り組むとともに、外部機関の研修などに積極的に参加することにより、学芸員等のスキル向上を図り専門性を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域史料実務研修会[埼玉県地域史料保存活用連絡協議会主催]:2名参加(博物館、AC)</li> <li>・アーカイブズ研修Ⅱ[独立行政法人国立公文書館主催]:1名参加(博物館、AC)</li> <li>・文書資料取扱講習会[埼玉県立文書館主催]:1名参加(AC)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域史料実務研修会[埼玉県地域史料保存活用連絡協議会主催]:1名参加(AC)</li> <li>・博物館登録制度説明会[埼玉県文化資源課主催]:1名参加(博物館)</li> <li>・埼玉県博物館連絡協議会後期研究会・見学会[埼玉県博物館連絡協議会主催]:1名参加(博物館)</li> <li>・埼玉県博物館連絡協議会南部地域見学会[埼玉県博物館連絡協議会南部地域連絡協議会主催]:1名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域史料実務研修会[埼玉県地域史料保存活用連絡協議会主催]:1名参加(AC)</li> <li>・埼玉県地域史料保存活用連絡協議会設立50周年記念シンポジウム[埼玉県地域史料保存活用連絡協議会主催]:2名参加(AC)</li> <li>・視察研修会[埼玉県地域史料保存活用連絡協議会主催]:1名参加(AC)</li> <li>・埼玉県博物館連絡協議会後期研究会・見学会[埼玉県博物館連絡協議会主催]:1名参加(博物館)</li> <li>【課題】館事業等との日程の重複</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き外部機関による各種研修への参加を行う。(博物館、AC)</li> </ul>	
3	他博物館や関係機関などと連携を図り、外部の研究成果を積極的に活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他博物館等への所蔵資料の貸出し、調査協力等の実施(博物館、AC)</li> <li>葛飾区立郷土と天文の博物館:鍛冶谷・新田口遺跡出土資料、写真、図面等</li> <li>さいたま市アーカイブズセンター:十三菩提式土器写真</li> <li>埼玉県立川の博物館:荒川河川改修工事写真</li> <li>埼玉県文化資源課:慶長の板碑(動画撮影)</li> <li>埼玉県立自然の博物館:肥桶、肥柄杓、肥船模型(調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他博物館等への所蔵資料の貸出し、調査協力等の実施(博物館)</li> <li>埼玉県立川の博物館:肥桶、肥柄杓、肥船模型、関連写真資料</li> <li>さいたま市うらわ美術館:「戸田市所蔵絵画展」展示絵画作品(調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他博物館等への所蔵資料の貸出し、調査協力等の実施(博物館)</li> <li>草加市立歴史民俗資料館:埴輪片、形象埴輪片</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き他博物館、関係機関等との連携を図る。(博物館、AC)</li> </ul>	
4	庁内他課事業との連携(戸田ヶ原自然再生事業など)を積極的に進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携事業 年2回(彩湖)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回(彩湖)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回(彩湖)</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回(彩湖)</li> </ul>	

## 戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

## 機能2. 収集・整理・保存

郷土戸田の歴史・文化や自然について次世代へとつなげるため、資料の収集・整理・保存に努めていきます。

[評価]令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価

3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった

[方向性]令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標

継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
1	限りある収蔵スペースを最大限活用するため、資料の整理及び収蔵環境の維持・改善に取り組む	・館内収蔵庫、川岸収蔵庫において収蔵資料の現況調査、再整理の取組を継続的に行った。(博物館)	・館内収蔵庫、川岸収蔵庫において収蔵資料の現況調査、再整理の取組を継続的に行った。(博物館)	・館内収蔵庫、川岸収蔵庫において収蔵資料の現況調査、再整理の取組を継続的に行った。(博物館) 【課題】収蔵庫内の資料収蔵状況が飽和状態に近い	A	継続	・引き続き館内収蔵庫、川岸収蔵庫における収蔵資料の現況調査、再整理の取組を行う。(博物館)	
2	収蔵資料のさらなる充実を図るため、寄贈などによる地域の資料の適切な受入れに一層努める	・寄贈による地域の資料の調査、受入れを行った。寄贈受入件数10件(博物館、AC)	・寄贈による地域の資料の調査、受入れを行った。寄贈受入件数10件(博物館、AC)	・寄贈による地域の資料の調査、受入れを行った。寄贈受入件数9件(博物館、AC)	A	継続	・引き続き寄贈などによる地域の資料の適切な受入れに取り組む。(博物館)	
3	市の歴史を跡付ける史料となる「歴史的公文書」をはじめ、地域に残された史料の収集・整理・保存に継続して取り組む	・R5.1月及び3月に歴史的公文書の選別作業を実施した。(博物館、AC) ・年間を通して、歴史的公文書の整理・保存、地域史料の収集・整理・保存を実施した。(博物館、AC)	・R6.3月に歴史的公文書の選別作業を実施した。(博物館、AC) ・年間を通して、歴史的公文書の整理・保存、地域史料の収集・整理・保存を実施した。(博物館、AC)	・R7.3月に歴史的公文書の選別作業を実施した。(博物館、AC) ・年間を通して、歴史的公文書の整理・保存、地域史料の収集・整理・保存を実施した。(博物館、AC) 【課題】整理対象資料の数量が膨大である	A	継続	・引き続き歴史的公文書をはじめ、地域に残された史料の収集・整理・保存に取り組む。※行政管理課と要調整(博物館)	
4	収蔵品管理システムにより、収蔵資料の適切な管理を行うとともに、収蔵資料情報の公開の充実(公開対象資料の拡大)を図る	・収蔵品管理システムにおける収蔵資料情報の更新を行った。同システムの一般向け公開機能を利用した「戸田市立郷土博物館収蔵資料データベース」の情報の更新[資料写真の更新]を行った。(博物館)	・収蔵品管理システムにおける収蔵資料情報の更新を行った。同システムの一般向け公開機能を利用した「戸田市立郷土博物館収蔵資料データベース」の情報の更新を行った。(博物館)	・収蔵品管理システムにおける収蔵資料情報の更新を行った。同システムの一般向け公開機能を利用した「戸田市立郷土博物館収蔵資料データベース」の情報の更新を行った。(博物館)	A	継続	・引き続き収蔵品管理システムによる収蔵資料の適切な管理、収蔵資料情報の公開の充実に取り組む。(博物館)	

## 戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

## 機能3. 展示・公開・発信

歴史・民俗分野と自然分野にわたる「総合博物館」として、魅力ある展示・公開の事業を行うとともに、戸田市民の財産として広く発信していきます。

[評価]令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価

3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった

[方向性]令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標

継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
1	戸田に関わりのあるテーマを広く求め、日頃接する機会がない貴重な資料なども紹介する特別展、企画展を開催する	・第28回企画展「彩湖自然学習センター(みどりパル)の25年 みどりとともに」を開催した。(彩湖) 会期:R4.9/3～10/30[49日間] 入場者数:1,531人	・近隣学校連携展示「埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部作品展 TODA PHOTO GALLERY 2023」を開催した。(博物館) 会期:R5.6/13～7/9[25日間] 入場者数:504人 ・第29回企画展「戸田市所蔵絵画展」を開催した。(博物館) 会期:R5.10/14～11/19[33日間] 入場者数:840人	・第30回企画展「戸田の昔ばなし原画展ー池原昭治原画の世界ー」を開催した。(博物館) 会期:R6.8/1～9/1[31日間] 入場者数:1,133人 【課題】職員数が限られており、次期展示準備のための期間が十分に取れない	A	継続	・近隣高等学校連携展示の開催(博物館)	
2	博物館の調査・研究活動に基づいた成果を市民などに還元する特別展、企画展を開催する	・文化財企画展「ここまで分かった! 戸田市の埋蔵文化財最新情報展」を開催した。(博物館) 会期:R4.6/12～7/31[45日間] 入場者数:1,315人 ・第21回昔のくらし展「たんけん 昔のくらし」を開催した。(博物館) 会期:R5.1/14～3/5[45日間] 入場者数:2,096人	・第22回昔のくらし展「はっけん 昔のくらし」を開催した。(博物館) 会期:R6.1/20～3/10[46日間] 入場者数:2,598人	・第31回企画展「新収蔵品展～ようこそ戸田の宝物たち～」を開催した。(博物館) 会期:R6.10/5～11/17[41日間] 入場者数:1,871人 ・第23回昔のくらし展「たんけん 昔のくらし」を開催した。(博物館) 会期:R7.1/18～3/9[47日間] 入場者数: 【課題】職員数が限られており、次期展示準備のための期間が十分に取れない	A	新規	・企画展「戸田と戦争(仮称)」の開催(博物館) ・第24回昔のくらし展「はっけん 昔のくらし(仮称)」の開催(博物館)	
3	ロビー展などの小規模展示を活用し、調査・研究活動成果の定期的な公開・発信を図る	・ロビー展「戸田市の中世」を開催した。(博物館) 会期:R4.11/3～12/4[29日間] 入場者数:263人 ・近隣学校連携展示「インスタレーション・アート」を開催した。 会期:①R4.11/26～12/25 ②R5.1/24～2/15 ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	・近隣学校連携展示「インスタレーション・アート」を開催した。(博物館) 会期:R6.2/3～2/12 ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	・ロビー展「端午の節句」を開催した。(博物館) 会期:R6.4/20～5/5[14日間] 入場者数:388人 ・近隣学校連携展示「戸田翔陽高校写真部×郷土博物館連携企画展 TODA PHOTO GALLERY 2024」を開催した。(博物館) 会期:R6.7/10～7/18[9日間] 入場者数:278人 ・近隣学校連携展示「開館40周年記念コラボ展示～郷土博物館×戸田かけはし1年～」を開催した。(博物館) 会期:R6.10/17～11/17[29日間] ・近隣学校連携展示「戸田かけはし1年×郷土博物館コラボ展示～ニュートンのこしかけ～」を開催した。(博物館) 会期:R6.12/12～12/22[11日間] 入場者数:222人 ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	A	新規	・ロビー展「端午の節句展(仮称)」の開催(博物館) ・ロビー展「桃の節句展(仮称)」の開催(博物館) ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	

## 戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

## 機能3. 展示・公開・発信

歴史・民俗分野と自然分野にわたる「総合博物館」として、魅力ある展示・公開の事業を行うとともに、戸田市民の財産として広く発信していきます。

[評価] 令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価

3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった

[方向性] 令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標

継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
4	『研究紀要』などの刊行物により、調査・研究の成果を広く公開・発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>『研究紀要』第31号の刊行(博物館)</li> <li>『戸田市史調査報告書』第23集の刊行(AC)</li> <li>『郷土博物館だより』第49号の発行(博物館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『研究紀要』第32号の刊行(博物館)</li> <li>『戸田市史調査報告書』第24集の刊行(AC)</li> <li>『埋蔵文化財発掘調査報告書(鍛冶谷・新田口遺跡第12次・前谷遺跡第1次、南原遺跡第14次)』の刊行(文化財)</li> <li>『郷土博物館だより』第50号の発行(博物館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『戸田市史調査報告書』第25集の刊行(AC)</li> <li>『埋蔵文化財発掘調査報告書(前谷遺跡第13次～第15次・鍛冶谷・新田口遺跡第4次・南原遺跡第4次)』の刊行(文化財)</li> <li>『郷土博物館だより』第51号の発行(博物館)</li> <li>『研究紀要』第33号の刊行(博物館)</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>『戸田市史調査報告書』第26集の刊行(AC)</li> <li>『埋蔵文化財発掘調査報告書(上戸田本村遺跡第5次)』の刊行(文化財)</li> <li>『郷土博物館だより』第52号の発行(博物館)</li> <li>『研究紀要』第34号の刊行(博物館)</li> </ul>	
5	常設展示など各種展示の見どころを分かりやすく伝える動画コンテンツの充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財企画展「ここまで分かった！戸田市の埋蔵文化財最新情報展」の会期中、展示開催紹介動画の公開を行った。(博物館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「下戸田ささら獅子舞(市指定無形民俗文化財)」奉納舞の動画について、市公式動画チャンネルで配信を行った。(文化財)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市指定文化財「三代目戸田橋の親柱」の紹介動画を作成し、市公式動画チャンネルで公開を行った。(文化財)</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き各種展示に係る動画コンテンツの充実を図る。(博物館)</li> </ul>	
6	収蔵資料や市内文化財などの情報のデジタル化を進め、デジタルミュージアムとして広く発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館指定管理者との連携により、「戸田市史ある記マップ(文化財マップ)」の情報を発信する戸田市デジタル・アーカイブを開設し、令和4年7月から運用を開始した。(博物館)</li> <li>収蔵品管理システムの一般向け公開機能を利用した「戸田市立郷土博物館収蔵資料データベース」の情報の更新[資料写真の更新]を行った。(博物館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸田市デジタル・アーカイブの運用継続、情報の更新を行った。(博物館)</li> <li>収蔵品管理システムの一般向け公開機能を利用した「戸田市立郷土博物館収蔵資料データベース」の情報の更新を行った。(博物館)</li> <li>文化財企画展「ここまで分かった！戸田市の埋蔵文化財最新情報展」のデジタル解説冊子について、インターネットサイト「全国遺跡報告総覧」で公開を行った。(文化財)</li> <li>常設展示学習サポート(小学6年生～一般向け)について、市HPで公開を行った。(博物館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸田市デジタル・アーカイブの運用継続、情報の更新を行った。(博物館)</li> <li>収蔵品管理システムの一般向け公開機能を利用した「戸田市立郷土博物館収蔵資料データベース」の情報の更新を行った。(博物館)</li> <li>再整理が終わった埋蔵文化財発掘調査報告書のデジタル化を実施し、インターネットサイト「全国遺跡報告総覧」で公開を行った。(文化財)</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き戸田市デジタル・アーカイブ、戸田市立郷土博物館収蔵資料データベースの運用、情報の更新に取り組む。(博物館)</li> </ul>	

## 戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

## 機能3. 展示・公開・発信

歴史・民俗分野と自然分野にわたる「総合博物館」として、魅力ある展示・公開の事業を行うとともに、戸田市民の財産として広く発信していきます。

[評価]令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価

3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった

[方向性]令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標

継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
7	常設展示における音声ガイド(視覚障害者対応、多言語対応含む)の検討など、展示情報の一層のバリエーション化に取り組む	・音声ガイドアプリ「ポケット学芸員」を用いた常設展示資料の音声ガイドを導入し、令和4年11月から運用を開始した。(博物館)	・「ポケット学芸員」による音声ガイドの運用を継続した。(博物館) ・常設展示室内復元民家の音声ガイドの運用を再開した。(博物館)	・「ポケット学芸員」による音声ガイドの運用を継続した。(博物館) ・常設展示室内復元民家の音声ガイドの運用を継続した。(博物館)	A	継続	・引き続き「ポケット学芸員」による音声ガイドの運用を行い、音声ガイド対象展示資料の増加に取り組む。(博物館) ・引き続き常設展示室内復元民家の音声ガイドの運用を継続する。(博物館)	
8	学芸員による展示解説(常設展、企画展、特別展など)を実施し、成果をわかりやすく伝える	・文化財企画展「ここまで分かった！戸田市の埋蔵文化財最新情報展」において展示解説を実施した。(博物館) 期日:R4.6/26、7/9、7/30 参加者数:12人(6/26)、7人(7/9)、10人(7/30) ・第21回昔の暮らし展「たんけん 昔の暮らし」において展示解説を実施した。(博物館) 期日:R5.2/12、3/5 参加者数:1人(2/12)、1人(3/5)	・第22回昔の暮らし展の展示解説を実施した。(博物館) 期日:R6.2/17、3/2 参加者数:0人(2/17)、2人(3/2)	・第31回企画展「新収蔵品展～ようこそ戸田の宝物たち～」の展示解説を実施した。(博物館) 期日:R6.11/2 参加者数:2人(AM)、2人(PM) ・開館40周年記念「古民家おはなし会・常設展示室展示解説」を実施した。(博物館) 期日:R6.11/3 参加者数:13人(AM)、29人(PM) ・第23回昔の暮らし展の展示解説を実施した。(博物館) 期日:R7.2/15、3/1 参加者数:(2/15)、(3/1)	A	縮小	・第24回昔の暮らし展展示解説の実施(博物館) 時期:R8.2月～3月	
9	彩湖周辺の自然環境や生き物の魅力を紹介する動画配信の充実を図る	・動画配信 毎月1回(彩湖)	・毎月1回(彩湖)	・毎月1回(彩湖)	A	継続	・毎月1回(彩湖)	
10	国(荒川上流河川事務所)や民間企業などとの連携による展示、イベントの充実を目指す	・イベント開催 年1回(彩湖)	・年3回(彩湖)	・年3回(彩湖)	A	継続	・年3回(彩湖)	
11	市内公共施設などを会場とした写真パネル展示の充実を図る	・パネル展示 年2回(彩湖)	・年4回(彩湖)	・年4回(彩湖)	A	継続	・年4回(彩湖)	

戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

機能4. 教育普及

生涯学習に資する社会教育施設として、教育普及活動に積極的に取り組んでいきます。

[評価]令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価  
 3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった  
 [方向性]令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標  
 継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
1	博学連携事業として、小3及び小6の博物館授業(来館方式やオンライン方式)、出張授業支援、資料貸出などを一層推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生博物館授業[歴史](博物館) 実施時期:R4.11月 実施数:12校39クラス、1,413名</li> <li>実施方法:オンラインによる実施</li> <li>・小学3年生博物館授業[人々のくらしのうつりかわり](博物館) 実施時期:R5.2月 実施数:12校44クラス、1,368人</li> <li>実施方法:オンラインによる実施</li> <li>・出張、館内受入授業支援(博物館) R4.5/31:出張授業支援[戸一小] R4.9/21:常設展示見学[笹目東小] R4.10/21:常設展示解説[新曽中] R5.1/25:展示解説[ステップ教室] R5.3/3:常設展示・昔のくらし展見学[戸一小]</li> <li>・資料貸出(博物館) R4.5月:戸一小6年生 R5.2月:戸田東小3年生、戸田南小3年生、新曽小3年生、笹目東小3年生、芦原小3年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生博物館授業[歴史](博物館) 実施時期:R5.5月～6月 実施数:12校37クラス、1,243人</li> <li>実施方法:来館による実施</li> <li>・小学3年生博物館授業[人々のくらしのうつりかわり](博物館) 実施時期:R6.1月～2月 実施数:12校45クラス、1,174人</li> <li>実施方法:来館による実施</li> <li>・出張、館内受入授業支援(博物館) R5.9/29:常設展示見学[笹目東小]</li> <li>・資料貸出(博物館) R6.1月:戸二小1年生 R6.2月:戸一小地域×学校の祭り R6.3月:新曽小3年生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生博物館授業[歴史](博物館) 実施時期:R6.5月～6月 実施数:12校41クラス、1,333人</li> <li>・小学3年生博物館授業[人々のくらしのうつりかわり](博物館) 実施時期:R7.1月～2月 実施数:12校44クラス、</li> <li>・出張、館内受入授業支援(博物館) R6.10/30:常設展示見学[不登校生徒支援教室「いっぽ」]</li> <li>・資料貸出(博物館) R6.11月:戸田一小クラブ活動</li> <li>【課題】博物館授業の開始・終了時刻など、個々の学校側からの要望が年々多くなっている</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生博物館授業[歴史](博物館) 実施時期:R7.5月～6月 実施数:12校</li> <li>・小学3年生博物館授業[人々のくらしのうつりかわり](博物館) 実施時期:R8.1月～2月 実施数:12校</li> <li>・出張、館内受入授業支援(博物館)</li> <li>・資料貸出(博物館)</li> </ul>	
2	博学連携事業として、小3の彩湖自然学習センター授業、彩湖サイエンスサポートプログラムなどを一層推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生センター授業(彩湖) 実施校数:12校 実施数:44学級1,293名</li> <li>・サイエンスサポートプログラム(彩湖) 実施回数:4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生センター授業(彩湖) 実施校数:12校</li> <li>・サイエンスサポートプログラム(彩湖) 11件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生センター授業(彩湖) 実施校数:12校</li> <li>・サイエンスサポートプログラム(彩湖) 5件</li> </ul>	A	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生センター授業(彩湖) 実施校数:12校</li> <li>・サイエンスサポートプログラム(彩湖) 5件</li> </ul>	
3	郷土博物館活用検討委員会、彩湖自然学習センター活用検討委員会、博学連携を考える研修会の活動により、博学連携事業の一層の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館活用検討委員会 委員3名 委嘱[戸一小、笹目小、笹目東小教諭]、年3回開催(博物館)</li> <li>・彩湖自然学習センター検討委員会 年3回(彩湖)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館活用検討委員会 未実施(博物館)</li> <li>・彩湖自然学習センター検討委員会 年3回(彩湖)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土博物館活用検討委員会 未実施(博物館)</li> <li>・彩湖自然学習センター検討委員会 年3回(彩湖)</li> <li>【課題】郷土博物館活用検討委員会については、検討を要する喫緊の課題がある場合にのみ行う形に改めた</li> </ul>	B	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩湖自然学習センター検討委員会 年3回(彩湖)</li> </ul>	

## 戸田市郷土博物館ビジョン 進捗状況まとめ

## 機能4. 教育普及

生涯学習に資する社会教育施設として、教育普及活動に積極的に取り組んでいきます。

[評価]令和6年度の実施予定と実績を比較した際の評価

3段階評価 A・・・計画どおり実施した B・・・計画より縮小した C・・・実施しなかった

[方向性]令和6年度の実施内容と令和7年度の予定を比較した際の指標

継続・拡大・新規の3つに分類

No.	主な取組	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績) ※見込み含む	評価	令和7年度 方向性	令和7年度(予定)	令和 8年度
4	小・中学校教職員の施設体験研修の受入れを行う	・戸田市小・中学校初任者教員施設体験研修の受入れを行った。(博物館) 期日:R4.7/29 参加者数:30人 ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	・戸田市小・中学校初任者教員施設体験研修の受入れを行った。(博物館) 期日:R5.8/18 参加者数:29人 ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	・小学校5年経験者研修(社会貢献活動研修)の受け入れを行った。(博物館) 期日:R6.8/9 参加者:1人 ・戸田市小・中学校初任者教員施設体験研修の受入れを行った。(博物館) 期日:R6.8/21 参加者数:27人 ・5年次教員研修(県立高等学校教員/社会貢献活動体験研修)の受け入れを行った。(博物館) 期日:R6.12/12 参加者数:2人 ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	A	継続	・戸田市小・中学校初任者教員施設体験研修 年1回(博物館) ・彩湖自然学習センター 年1回(彩湖)	
5	子供向け教育普及活動に携わる博物館ボランティアの育成を図る	・博物館ボランティア登録者に対し、今後の活動継続意向確認を令和4年6月から7月に実施した。(博物館)	・博物館ボランティアの追加補充(随時)を行った。 R5年度新規登録者数:5人(登録者総数:11人)	・博物館ボランティアの追加補充(随時)を行った。 R6年度新規登録者数:1人(登録者総数:12人)	A	継続	・引き続き博物館ボランティアの追加補充(随時)に取り組む。(博物館)	
6	「体験型学習」の特性を活かした講座の一層の充実を図る	・郷土博物館講座 年6講座8回を開催した。(博物館) ・彩湖自然学習センター 年32回(彩湖)	・郷土博物館講座 年2講座5回を開催した。(博物館) ・年36回(彩湖)	・郷土博物館講座 年4講座5回を開催した。(博物館) ・年33回(彩湖)	A	継続	・郷土博物館講座 年5回(博物館) ・年33回(彩湖)	
7	文化財保護事業の一環である文化財講座の一層の充実を図る	・文化財企画展関連講座を開催した。(博物館) ・文化財講座 年2講座を開催した。(文化財)	・文化財講座 年2講座を開催した。(文化財)	・文化財講座 年2講座を開催した。(文化財)	A	継続	・文化財講座 年2講座(文化財)	
8	大学学芸員課程の博物館実習の受入れを行う	・博物館実習の受入れを行った。(博物館、AC、彩湖) 実施時期:R4.7/19~7/22、7/26~7/28 受入人数:3人	・博物館実習の受入れを行った。(博物館、AC、彩湖) 実施時期:R5.10/16~10/20 受入人数:3人	・博物館実習の受入れを行った。(博物館、AC、彩湖) 実施時期:R6.8/1、8/2、8/5~8/7 受入人数:3人	A	継続	・博物館実習(博物館、AC、彩湖) 実施時期:R7.8月 受入人数:3人	